

発 輸 番 号  
申 請 年 月 日

厚生大臣  
○○○○ 殿

設置者名 ○○○○  
代表者名 ○○○○ 印

保健婦（助産婦、看護婦）養成所の設置計画について

標記について、保健婦助産婦看護婦法第19条第2号（第20条第2号、第21条第2号）の規定による保健婦（助産婦、看護婦）養成所の設置を計画したので、添付書類を添えて設置計画書を提出いたします。

発 翰 番 号  
申 請 年 月 日

厚生大臣  
○○○○ 殿

設置者名 ○○○○  
代表者名 ○○○○ 印

保健婦（助産婦、看護婦）養成所の指定申請について

○○○保健婦（助産婦、看護婦）養成所を保健婦助産婦看護婦法第 19 条第 2 号（第 20 条第 2 号、第 21 条第 2 号）の規定による保健婦（助産婦、看護婦）養成所として指定されるよう、添付書類を添えて申請します。

発 翰 番 号  
申 請 年 月 日

厚生大臣  
○○○○ 殿

設置者名 ○○○○  
代表者名 ○○○○ 印

保健婦（助産婦、看護婦）養成所の課程変更計画（入所  
定員変更計画）について

標記について、保健婦助産婦看護婦法第 19 条第 2 号（20 条  
第 20 号、第 21 条第 2 号）の規定による保健婦（助産婦、看護  
婦）養成所の課程（入所定員）の変更を計画したので、添付書類  
を添えて課程（入所定員）変更設置計画書を提出します。

発 翰 番 号  
申 請 年 月 日

厚生大臣  
○○○○ 殿

設置者名 ○○○○  
代表者名 ○○○○ 印

保健婦（助産婦、看護婦）養成所の学則（校舎各室の用途及び面積、実習施設）の変更承認申請について

標記について、保健婦助産婦看護婦学校養成所指定規則第3条第1項の規定に基づき、学則（校舎各室の用途及び面積、実習施設）の変更について、次のとおり承認されるよう、添付書類を添えて申請します。

<記載要領>

- 1 同時に複数の事項についての変更の承認を受けようとする場合は、一括して申請すること。

様式第2-1

養成所設置計画書（養成所指定申請書）

設置者	名 称				
	住 所	電 話			
	代表者名	職 位			
養成所	名 称	(課程名)			
	位 置	電 話			
設置予定年月日					
カリキュラムの種 類	単 独 の カ リ キ ュ ラ ム			統 合 カ リ キ ュ ラ ム	
	保健婦	助産婦	看護婦	保健婦 看護婦	助産婦 看護婦
修 業 年 限 (全日制、定時制の別)					
1 学 年 定 員					
その他の併設養成所	養成所（課程）名		(入所定員 名・総定員 名)		

<記載要領>

1 設置者

- (1) 設置者の名称及び住所は、登記簿のとおりに記載すること。
- (2) 設置者の住所の欄には、主たる事務所の所在地を記載すること。

2 養成所の名称

- (1) 養成所の名称は正確に記載し、同一学則の中に他の養成所（保健婦、助産婦、看護婦、准看護婦）について規定する場合には、学科名等まで記載すること。

例      ○○学校保健婦学科

- (2) 看護婦養成所の中に3年課程、2年課程等を併設する場合には、該当する学科名等まで記載し、対応する課程名を（課程名）の後に記載すること。

例      ○○学校看護第1学科      (課程名) 3年課程 (全日制)

         ○○学校看護第2学科      (課程名) 2年課程 (全日制)

3 カリキュラムの種類、修業年限及び1学年定員

- (1) 「カリキュラムの種類」欄について、当該養成所で行うすべてのカリキュラムについて○を付し、その下の「修業年限」欄及び「1学年定員」欄に、対応する修業年限及び1学年定員を記載すること。
- (2) 「1学年定員」欄については、1学年定員を記載した上で、廃止する予定のものにはその数字の上に×を付すとともに、廃止予定年月を付記すること。また、申請しているカリキュラムを含め、まだ開始していないものには○を付し、開始予定年月を付記すること。
- (3) 看護婦養成所において、複数の課程（3年課程と2年課程）を有する場合には、それが分かる

ように並べて記載すること。

例1 平成10年4月から、定員40名の保健婦と看護婦との統合カリキュラムによる養成を新たに行う場合の看護婦養成所についての指定申請

カリキュラムの種類	単独のカリキュラム			統合カリキュラム	
	保健婦	助産婦	看護婦	保健婦 看護婦	助産婦 看護婦
修業年限 (全日制、定時制の別)				4(全日制)	
1学年定員				40 H10.4	

\*別に保健婦養成所についての指定申請も必要

例2 定員40名で看護婦の養成(3年課程・全日制)を行っている養成所が、平成10年3月にそれを廃止して、同年4月から定員40名の助産婦と看護婦との統合カリキュラムによる養成を行う場合の助産婦養成所についての指定申請

カリキュラムの種類	単独のカリキュラム			統合カリキュラム	
	保健婦	助産婦	看護婦	保健婦 看護婦	助産婦 看護婦
修業年限 (全日制、定時制の別)			3(全日制)		4(全日制)
1学年定員			<del>40</del> H10.3		40 H10.4

\*別に看護婦養成所についての変更承認申請も必要

例3 定員40名ずつで看護婦の養成(3年課程及び2年課程・いずれも全日制)を行っている養成所が、平成10年4月から定員40名で保健婦と看護婦との統合カリキュラムによる養成を新たに行う場合の保健婦養成所についての指定申請

カリキュラムの種類	単独のカリキュラム			統合カリキュラム	
	保健婦	助産婦	看護婦	保健婦 看護婦	助産婦 看護婦
修業年限 (全日制、定時制の別)			①2(全日制) ②3(全日制)	4(全日制)	
1学年定員			①40 ②40	40 H10.4	

\*別に看護婦養成所についての変更承認申請も必要

#### 4 その他の併設養成所

看護婦等養成所のみでなく、すべての併設養成所を記載すること。

## 様式第2-2

### 教員の氏名、担当科目及び専任・兼任の別

職 位	氏 名	担当科目	時間数	専任、兼任の別	備 考
学 校 長					
副 学 校 長					
専任 教員	教務主任				
	実習調整者				
	そ の 他				
その他の教員					
事務職員		/	/		
そ の 他		/	/		

### 教員の担当別人数

教 員	分野名	基礎分野		専門基礎分野		専門分野	
		専任教員	兼任教員	専任教員	兼任教員	専任教員	兼任教員
	看 護 婦	名	名	名	名	名	名
	保 健 婦						
	助 産 婦						
	医 師						
	その他の医療従事者						
	そ の 他						
	合 計						

#### <記載要領>

- 「教員の氏名、担当科目及び専任・兼任の別」の表
  - 1) 学校長及び副学校長が兼任の場合には、その所属及び職位を「備考」欄に記載すること。
  - 2) その他の教員については、その所属及び職位を「備考」欄に記載すること。
  - 3) 養成所に専任の臨床実習指導者がいる場合は、「専任教員」欄の専門分野担当の専任教員の次に記載すること。
- 「教員の担当別人数」の表で、保健婦養成所及び助産婦養成所の場合には、分野ごとに分ける必要はないこと。

### 様式 2 - 3

#### 校舎各室の名称、用途及び面積

番号	室の名称	面積	専用・兼用の別	備考
総面積		m <sup>2</sup>		

#### <記載要領>

- 1 兼用の校舎各室については、どの課程と兼用するかを備考欄に記載すること。
- 2 番号は、添付書類の校舎の平面図の室の番号と一致させること。

様式第2-4-1

実習施設（総括表）

種 別	名 称	所 在 地 (交通手段及び時間)	実習分野	実習単位数 又は時間数
合 計				

<記載要領>

- 1 行う実習の単位数に関わらず、行う実習が1単位以下の場合であってもすべて記載すること。  
 なお、実習が1単位以下の場合には、「実習単位数又は時間数」欄には、実習の時間数を記載すること。
  
- 2 「種別」欄には、次のものを記載すること。
  - (1) 保健婦養成所  
 保健所、市町村、医療機関、訪問看護ステーション、精神保健福祉センター、社会福祉施設、学校、事業所、その他
  - (2) 助産婦養成所  
 病院、診療所、助産所、保健所、市町村保健センター、母子保健センター、その他
  - (3) 看護婦養成所  
 病院、診療所、訪問看護ステーション、保健所、市町村保健センター、助産所、老人保健施設、在宅介護支援センター、特別養護老人ホーム、保育所、社会福祉施設、その他

様式第2-4-2

実習施設

1 保健婦養成所（保健所及び市町村） ( 年 月 日現在)

名 称	
位 置	電話
保 健 所 長 名 (又は市町村長名)	
実習担当課（係）	
養成所からの距離、 交通手段及び時間	

(1) 職員数 ( 年 月 日現在)

区 分	定 員	現 員	区 分	定 員	現 員
保 健 婦			栄 養 士		
助 産 婦			診 療 放 射 線 技 師		
看 護 婦			臨 床 検 査 技 師		
医 師			事 務 職 員		
歯 科 医 師			そ の 他		
薬 剤 師					
獣 医 師			合 計		

(2) 保健所又は市町村の組織における保健婦の配置状況  
(組織図及び事務分掌添付)

(3) 看護部門の状況  
ア 本年度の方針と目標

方針
目標

イ 看護職員の現任教育訓練（実習施設内・外）実施状況

研 修 会 名	年 月	内 容	参 加 者 数

ウ 各種基準、手順の整備状況

区 分	内 容

(4) 実習指導予定者の略歴

氏 名 (生年月日)	一般最終学歴 (卒業年)	専 門 学 歴 (卒業年)	研 修 (修了年)	実 務 年 数

(5) 設備、図書等の整備状況

区 分	有 無	備 考
更 衣 室		
休 憩 室		
討 議 室		
記録机、私物入れ		
そ の 他		
看護関係図書		

(6) 他校学生等の実習受入れ状況

区 分	養成所名	学生数	1グループ の学生数	実習期間	実習分野
保健婦養成所					
助産婦養成所					
看護婦養成所	(課程名)				
合 計					

<記載要領>

- 1 1単位以上の実習を行う保健所及び市町村について作成すること。
- 2 実習施設が2以上あるときは施設別に作成すること。
- 3 (1)「職員数」は、非常勤職員があるときは、括弧書きにより別掲とすること。
- 4 (3)ーイ「看護職員の現任教育訓練(実習施設内・外)実施状況」については、前年度の実施状況及び今年度の計画について、その代表的なものを簡潔に記載すること。
- 5 (5)「設備、図書等の整備状況」については、その有無及び数を記載すること。また、設備等は、実習期間中の専用、兼用(職員/他校学生)の別を記載すること。

2 助産婦養成所（病院、診療所及び助産所）

名 称						
位 置	電 話					
設 置 者 名	(代表者名 )					
院 長 名 (病院・診療所)						
管 理 者 名 (助産所)	氏 名			生年月日		
	免許取得日			登録番号		
	業務従事年数			/		
病 床 数	総 数	一 般	結 核	精 神	伝 染	そ の 他
実 習 分 野						
養成所からの距離、 交通手段及び時間						

(1) 職員数 (年 月 日現在)

区 分	定員	現員	区 分	定員	現員	区 分	定員	現員
保 健 婦			歯 科 医 師			作 業 療 法 士		
助 産 婦			薬 剤 師			栄 養 士		
看 護 婦			診 療 放 射 線 技 師			事 務 員		
准 看 護 婦			臨 床 検 査 技 師			そ の 他		
看 護 補 助 者			臨 床 工 学 技 士					
医 師			理 学 療 法 士			合 計		

(2) 産科の外来・入院患者数、助産婦・医師数及び分娩件数 (年 月 日現在)

	外来患者延数		入院患者延数		助産婦数	医師数
	前年度	前々年度	前年度	前々年度		
産 科						
分娩延件数	件	件	件	件	/	/
うち正常分娩件数	件(%)	件(%)	件(%)	件(%)	/	/

(3) 病棟別、診療科名、病床数、入院患者数及び看護要員数（病院のみ）（ 年 月 日現在）

病棟名	診療科名	病床数	入院患者数	看護要員数					
				保健婦	助産婦	看護婦	准看護婦	看護補助者	合計
合計									

(4) 看護部門の状況

ア 本年度の方針と目標（病院のみ）

方針
目標

イ 看護職員の現任教育訓練（実習施設内・外）実施状況

研修会名	年月	内容	参加者数

ウ 各種基準、手順の整備状況

区分	内容
業務基準と業務分担	
看護基準	
看護手順	
分娩介助手順	
保健指導指針、基準	
その他	

(5) 実習指導体制

ア 勤務体制

勤務体制	三交替制	二交替制	当直制	その他 ( )
勤務時間及び看護方式	区分	勤務時間		看護方式
	日勤	～		機能別
	準夜勤	～		チームナーシング
	深夜勤	～		患者別受け持ち
	変則勤務	～		その他
	〇〇勤務	～		

イ 実習指導予定者の略歴

病棟名	氏名 (生年月日)	一般最終学歴 (卒業年)	専門学歴 (卒業年)	研修 (修了年)	実務年数

ウ 設備、図書等の整備状況

区分	有無	内容
更衣室		
休憩室		
討議室		
待機室		
記録机、私物入れ		
その他		
看護関係図書		

(6) 他校学生等の実習受入れ状況

区 分	養成所名	学生数	1グループ の学生数	実習期間	実習分野
保健婦養成所					
助産婦養成所					
看護婦養成所	(課程名)				
准看護婦養成所					
合 計					

(7) 産科病棟及び産科外来の業務の実施状況

ア 集団指導の実施状況

	集団指導の名称	回数/週		集団指導の名称	回数/週
産科病棟			産婦人科外来		

イ 乳房管理の方法 : SMC、桶谷式、藤森式、その他 ( )

ウ 新生児の管理方法 : 母児同室、母児異室、その他 ( )

エ 助産婦外来の有無 : 有、無

オ 家庭訪問指導実地 : 有、無

<記載要領>

- 1 1単位以上の実習を行う病院、診療所及び助産所のすべてについて記載すること。
- 2 実習施設が2以上あるときは施設別に作成すること。
- 3 (1)「職員数」は、非常勤職員があるときは、括弧書きにより別掲とすること。また、助産所においては、「医師」欄については、「嘱託医」とすること。
- 4 (4)ーイ「看護職員の現任教育訓練(実習施設内・外)実施状況」については、前年度の実施状況及び今年度の計画について、その代表的なものを簡潔に記載すること。
- 5 (5)ーウ「設備、図書等の整備状況」については、その有無及び数を記載すること。また、設備等は、実習期間中の専用、兼用(職員/他校学生)の別を記載すること。

### 3 看護婦養成所

#### (1) 病院及び診療所

名 称						
位 置	電話					
設 置 者 名	(代表者名)					
院 長 名						
病 床 数	総 数	一 般	結 核	精 神	伝 染	そ の 他
実 習 分 野						
養成所からの距離、 交通手段及び時間						

#### ア 職員数

(年 月 日現在)

区 分	定員	現員	区 分	定員	現員	区 分	定員	現員
保 健 婦			歯 科 医 師			作 業 療 法 士		
助 産 婦			薬 剤 師			栄 養 士		
看 護 婦			診 療 放 射 線 技 師			事 務 員		
准 看 護 婦			臨 床 検 査 技 師			そ の 他		
看 護 補 助 者			臨 床 工 学 技 士					
医 師			理 学 療 法 士			合 計		

#### イ 病棟別、診療科名、病床数、入院患者数及び看護要員数（病院のみ）（年 月 日現在）

病棟名	診療科名	病床数	入院患者数	看 護 要 員 数					
				保健婦	助産婦	看護婦	准看護婦	看護補助者	合計
合計									

ウ 看護部門の状況

(ア) 本年度の方針と目標 (病院のみ)

方針
目標

(イ) 看護職員の現任教育訓練 (実習施設内・外) 実施状況

研 修 会 名	年 月	内 容	参 加 者 数

(ウ) 各種基準、手順の整備状況

区 分	内 容
業務基準と業務分担	
看護基準	
看護手順	
看護計画	
看護記録	
看護用具の整備	
その他	

エ 実習指導体制

(ア) 勤務体制

勤務体制	三交替制	二交替制	当直制	その他 ( )
勤務時間及び看護方式	区 分	勤務時間		看護方式
	日 勤	～		機能別
	準 夜 勤	～		チームナーシング
	深 夜 勤	～		患者別受け持ち
	変 則 勤 務	～		その他
	〇 〇 勤 務	～		

(イ) 実習指導予定者の略歴

病棟名	氏 名 (生年月日)	一般最終学歴 (卒業年)	専門学歴 (卒業年)	研 修 (修了年)	実務年数

(ウ) 設備、図書等の整備状況

区 分	有 無	内 容
更 衣 室		
休 憩 室		
討 議 室		
待 機 室		
記録机、私物入れ		
そ の 他		
看護関係図書		

オ 他校学生等の実習受入れ状況

区 分	養成所名	学生数	1グループ の学生数	実習期間	実習分野
保健婦養成所					
助産婦養成所					
看護婦養成所	(課程名)				
准看護婦養成所					
合 計					

## (2) 病院以外の実習施設

施設名								
位置		電話						
開設年月日								
設置者名		代表者名 (職種)						
管理者名								
利用者数		定員 人 利用者 人/月 (延べ 人/月)						
養成所からの距離、 交通手段及び時間								
職員数	区分	定員	現員	非常勤	区分	定員	現員	非常勤
	保健婦				その他の介護職員			
	助産婦				理学療法士			
	看護婦				作業療法士			
	准看護婦				その他			
	医師							
	介護福祉士				合計			
実習指導者の略歴	氏名 (生年月日)	最終基礎学歴 (卒業年)	専門学歴 (卒業年)	実習指導者講習会 (修了年)	実務年数			
他校学生等の実習受入れ状況	区分	養成所名	学生数	1グループ の学生数	実習期間	実習分野		
	保健婦養成所							
	助産婦養成所							
	看護婦養成所	(課程名)						
	准看護婦養成所							
	合計							
備考								

<記載要領>

- 1 行う実習が1単位以上の施設について記載すること。
- 2 実習施設が2以上あるときは施設別に作成すること。
- 3 (1)ーイについては、訪問看護を実施している病院は、「病棟名」欄に「訪問看護」と記載し、「入院患者数」欄に月間訪問延件数を記載すること。
- 4 (1)ーウー(イ)については、前年度の実施状況及び今年度の計画について、その代表的なものを簡潔に記載すること。
- 5 (2)の「施設名」欄について、診療所の場合には、診療科名まで記載すること。
- 6 「利用者数」欄については、次の数を記載すること。
  - ア 老人保健施設の場合は、入所及び通所定員を記載すること。
  - イ 訪問看護ステーションの場合は、利用者数を記載すること。
  - ウ その他の施設の場合は、適宜その施設の利用状況が分かるような数を記載すること。
- 7 併設施設がある場合には、「備考」欄に記載すること。
- 8 老人保健施設については、そのサービス内容を「備考」欄に記載すること。
- 9 訪問看護ステーションの場合には、運営規定を添付すること。

## 様式第2-5

### 図書目録（総括表）

種 別	数 量
専 門 図 書	
辞 典 類	
学 術 雑 誌	(種類)
そ の 他	
合 計	

#### <記載要領>

看護婦養成所については、専門図書は、基礎分野、専門基礎分野及び専門分野に分けて記載すること。

様式第2-6

収支予算及び向う2年間の財政計画

(単位 千円)

収 入			支 出		
項 目	開校年度	次年度	項 目	開校年度	次年度
学生生徒納付金収入 入学金 授業料 実験実習料 施設設備資金 その他			人件費 教員人件費 事務職員等人件費 その他		
			教育研究費 研修費 研究費 外部講師謝金 旅費交通費 実習経費 教材費 図書費 その他		
寄付金収入 特別寄付金 一般寄付金 現物寄付金			管理経費 消耗品費 光熱水費 その他		
			その他		
補助金収入 地方公共団体補助金			その他		
手数料			その他		
合計			合計		
学生1人当たりの額			学生1人当たりの額		

学生1人当たりの納付金額

(単位 円)

	入学検定料	入学金	授業料 (月額)	その他	合計
入学年度			( )		
次年度			( )		

整備に要する経費及び資金

(単位 千円)

所 要 経 費			資 金 計 画	
区 分	整備方法	金 額	区 分	金 額
土 地	設置者所有 寄付 買収 その他		自己資金	
建 物 (建物付属設備を含む。)	設置者所有 寄付 その他		借入金	
初 度 設 備 (機械器具、標本及び図書再掲)		( )	その他	
合 計			合 計	

様式第3-1

専任教員等の履歴書（総括表）

氏名	年齢	免許の種類	看護教員養成等講習会		実務経験		着予定日	備考
			受講の有無	修了年	臨床	教育		
学校長					年	年		
副学校長								
専任教員	教務主任							
	実習調整者							
	その他							

<記載要領>

本人及び施設長の承諾書の有無を備考欄に記載すること。

様式第3-2

専任教員等の履歴書

氏名			生年月日	( 歳)		性別	男・女		
現住所						担当科目			
学歴	年月	学校・養成所名	学部学科名		卒・修業、中退				
一般最終学歴					第 学年				
専門学歴					第 学年				
					第 学年				
免許	種類	登録年月日		登録番号					
看護教員養成 講習会等の 受講歴	講習会の名称				修了年月 ( 修業期間 )				
現所属施設	施設名			職位	所在地				
専門 職 歴	施設名	職種	始期	終期	期間				
			合計	内 訳					
	年 月	年 月	年 月	臨床	教育	その他			
	年 月	年 月	年 月	年 月	年 月	年 月	年 月		
合計									
研究発表、論文等（主なものを記載）									

<記載要領>

- 1 学歴については、「一般最終学歴」欄に一般教育の最終学歴を記載し、「専門学歴」欄に専門教育歴のすべてを記載すること。
- 2 免許については、看護職に限らず、介護福祉士等保有するすべての免許について記載すること。
- 3 専門職歴
  - (1) 専門職歴の「施設名」については、看護婦である教員は、担当する専門領域に関する資質が確認できるよう、勤務病棟までを記載すること。また、看護婦養成所の場合は課程の区分（2年課程、3年課程）を明記すること。
  - (2) 看護教員養成講習会等の受講及び看護婦等養成所設立準備室での勤務の場合は、その期間を「その他」に記載すること。

例

専 門 職 歴	施 設 名	職 種 職 位	始 期	終 期	期 間							
					合 計	内 訳			臨 床	教 育	そ の 他	
						年 月	年 月	年 月				年 月
	〇〇病院小児科病棟	看護婦	55 4	60 3	5 0	5 0	-	-	-	-	-	-
	〇〇病院整形外科病棟	看護婦 課長	60 4	63 3	3 0	3 0	-	-	-	-	-	-
	〇〇看護教員養成講習会		63 4	元 3	1 0	-	-	-	-	-	-	1
	〇〇看護専門学校3年課程	看護婦 専任教員	元 4	8 3	7 0	-	-	7 0	-	-	-	-
	合 計				16 0	8 0	7 0	1				

様式第3-3

実習施設の承諾書

承 諾 書

貴養成所の実習施設として、平成 年 月 日から〇〇〇〇〇  
(実習施設名)を使用することを承諾します。

平成 年 月 日

設置者 - 〇〇〇〇  
(代表者) 〇〇〇〇 印

養成所名 〇〇〇〇  
設置者 〇〇〇〇  
(代表者) 〇〇〇〇 殿

### 様式第3-4

#### 機械器具、標本及び模型の目録

品目	数量
ベッド 実習用モデル人形 : :	

#### <記載要領>

- 1 品目については「保健婦助産婦看護婦養成所の運営に関する指導要領」（平成8年8月26日健政発第731号各都道府県あて厚生省健康政策局長通知の別添）に掲げた順に記載すること。
- 2 他の施設から転用する場合、既設及び増備の別を記載すること。

様式第3-5

図書の目録

種 別		数 量
専門 図書		
	小 計	冊
辞典類		
	小 計	冊
学術 雑誌		
	小 計	種類
その他		
	小 計	冊
合 計		冊・種類

<記載要領>

- 1 各種別の冊数（雑誌にあつては種類）を記載すること。
- 2 看護婦養成所については、専門図書は、基礎分野、専門基礎分野及び専門分野に分けて記載すること。

様式第 4

学生の確保の見通し

( 年現在)

		(過去 5 年間の実績)				申 請 年	開 設 年	(開設後 5 年間の見込み)			
18才人口											
高校卒業生数											
・ 県内進学数											
・ 圏内進学数											
看護婦等学校養成所入学者数											
・ 県内からの進学数											
・ 県外からの進学数											
・ 定員充足率	県内										
	圏内										

様式第5

変更計画書（変更承認申請書）

設置者	名 称				
	住 所	電話			
	代表者名	職位			
養成所	名 称	(課程名)			
	位 置	電話			
設置予定年月日					
カリキュラムの種 類	単 独 の カ リ キ ュ ラ ム			統 合 カ リ キ ュ ラ ム	
	保健婦	助産婦	看護婦	看護婦 保健婦	看護婦 助産婦
修 業 年 限 (全日制、定時制の別)					
1 学 年 定 員					
その他の併設養成所		養成所（課程）名（入所定員 名・総定員 名）			
変 更 内 容		現 行		変 更 後	
	学 則				
	課 程				
	教 育 課 程				
	修 業 年 限				
	入 所 定 員				
	校舎の各室の用途 及び面積				
	実 習 施 設				
1 学 年 学 級 数					

<記載要領>

1 設置者

- (1) 設置者の名称及び住所は、登記簿のとおりに記載すること。
- (2) 設置者の住所の欄には、主たる事務所の所在地を記載すること。

2 養成所の名称

- (1) 養成所の名称は正確に記載し、同一学則の中に他の養成所（保健婦、助産婦、看護婦、准看護婦）について規定する場合には、学科名等まで記載すること。

例 ○○学校保健婦学科

- (2) 看護婦養成所の中に3年課程、2年課程等を併設する場合には、該当する学科名等まで記載し、対応する課程名を（課程名）の後に記載すること。

例 ○○学校看護第1学科 （課程名）3年課程（全日制）

○○学校看護第2学科 （課程名）2年課程（全日制）

### 3 カリキュラムの種類、修業年限及び1学年定員

- (1) 「カリキュラムの種類」欄について、当該養成所で行うすべてのカリキュラムについて○を付し、その下の「修業年限」欄及び「1学年定員」欄に、対応する修業年限及び1学年定員を記載すること。
- (2) 「1学年定員」欄については、1学年定員（定員を変更する場合には、それが分かるように記載すること。）を記載した上で、廃止する予定のものにはその数字の上に×を付すとともに、廃止予定年月を付記すること。また、申請しているカリキュラムを含め、まだ開始していないものには○を付し、開始予定年月を付記すること。
- (3) 看護婦養成所において、複数の課程（3年課程と2年課程）を有する場合には、それが分かるように並べて記載すること。

例1 定員40名で看護婦の養成（3年課程・全日制）を行っている養成所が、平成10年3月に定員を80名にする場合の変更承認申請

カリキュラムの種類	単独のカリキュラム			統合カリキュラム	
	保健婦	助産婦	看護婦	保健婦看護婦	助産婦看護婦
修業年限 (全日制、定時制の別)			3(全日制)		
1学年定員			40-80 H10.4		

例2 定員40名ずつで看護婦の養成（2年課程及び3年課程・全日制）を行っている養成所が、平成10年3月に2年課程による養成を廃止する場合の変更承認申請

カリキュラムの種類	単独のカリキュラム			統合カリキュラム	
	保健婦	助産婦	看護婦	保健婦看護婦	助産婦看護婦
修業年限 (全日制、定時制の別)			①2(全日制) ②3(全日制)		
1学年定員			①40 ②40 H10.3		

例3 定員40名ずつで看護婦の養成（3年課程及び2年課程・いずれも全日制）を行っている養成所が、平成10年4月から定員40名で保健婦と看護婦との統合カリキュラムによる養成を新たに行う場合の看護婦養成所についての変更承認申請

カリキュラムの種類	単独のカリキュラム			統合カリキュラム	
	保健婦	助産婦	看護婦	保健婦看護婦	助産婦看護婦
修業年限 (全日制、定時制の別)			①2(全日制) ②3(全日制)	4(全日制)	
1学年定員			①40 ②40	40 H10.4	

\*別に保健婦養成所についての指定申請も必要

### 4 その他の併設養成所

看護婦等養成所のみでなく、すべての併設養成所を記載すること。

様式第6

校舎各室の用途及び面積の新旧対照表

新				旧			
番号	室の名称	面積	専・兼の別	番号	室の名称	面積	専・兼の別
合計				合計			

<記載要領>

- 1 変更部分に対比できるように記載すること。
- 2 移転新築等全面改築については、新築のみ記載し、「移転新築」等と明記し、個々に記載しなくてもよい。

様式第7

学生に関する事項

年度	定員	応募者	受験者	合格者	入学者	一般学歴				
						中卒	高卒	短大卒	大卒	その他

退学者の状況

年度	退学者名	退学の理由

<記載要領>

いずれも過去3カ年について記載すること。